

第5学年 外国語科学習指導案

場 所 5年1組教室

児 童 男20名 女14名 計34名

指導者 横 沢 志 乃

1 単元名

We Can !1 Unit2 When is your birthday? (行事・誕生日)

2 児童について

児童は、移行期間としての昨年度に15時間の外国語活動で、ゲームや歌などの活動に楽しく取り組んできた。5年生の学習では、「Hi, friends!1」を活用し、Lesson3 How many? , Lesson5 What do you like? の単元を通して、ゲームやチャンツ、友達とのコミュニケーションを図りながら、英語の表現に慣れ親しんできた。また、「Hi, friends! Plus」を使用し、アルファベットの大きい文字や小さい文字の確認をする時間を取った。前単元から初めて新教材「We can!1」を使用し、Unit1 では登場人物や先生の好きなものを聞く活動と、自分の名前をアルファベットで紹介する活動を行い、外国語科の「書く」ことへのつながりとなる活動を行った。これまでの様子を見ると、児童ははっきりとした声で外国語の発音を真似てみたり、ゲームを通して新しい表現を使ってみたりと、意欲的に学習に取り組んでいる。また、相手に自分の考えが伝わるように、表情やジェスチャーを付けて表現しようとしている。しかし、全体では楽しく活動に取り組んでいても、個々の活動になると口ごもったり、なかなか言えなかったりしている児童もいる。

そこで、本単元では、友達へのインタビュー活動を各単位時間にスモールステップで位置付けて活動することにより、既習の表現を繰り返し使ったり、新しい表現を教え合ったりしながら、基本的な表現の基礎を養うことができると考える。

3 単元の指導構想

(1) 単元について

本単元は、新学習指導要領第5学年及び第6学年の目標(2)「コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。」に基づいている。

本単元は、日常生活においてよく使う月や日にちの言い方を知り、それらを使って誕生日や様々な行事の日程について伝え合うことができるようになることをねらいとしている。そのために、特別な月日である誕生日を取り上げ、自分の誕生日を伝えたり、相手の誕生日を尋ねたりする活動が中心となる。また、英語を「書く」ことにも慣れていくことができるように、バースデーカードを作る活動を取り入れていく。

本単元は、児童にとって特別な月日である誕生日や、誕生日に欲しいものを伝え合う活動から得た情報をもとに、バースデーカードを作って贈り合うという単元のゴールを導入時に設定している。互いの誕生日や欲しいものを尋ねる、答えるという活動において、既習の語句や表現と新しい表現を用いながら、児童が進んで友達とコミュニケーションを図ることができると思う。また、外国語科の学習では、これまでの「聞く」「話す」活動の他に、「読む」「書く」活動も入れてアルファベットに慣れ親しんでいく必要がある。バースデーカードを作る活動は、お祝いの意味を込めた“HAPPY BIRTHDAY TO YOU!”という表現を相手に贈るために丁寧に書く必然性があり、スペルを見ながら書き写すことによって抵抗感なく取り組めると考える。本単元での学習を生かして、他クラスの友達や家族など、他の人にも相手の好みを配慮してバースデーカードを作って贈ろうとするなど、今後の生活に生かしていこうとする態度の育成も期待できると考える。

(2) 指導にあたって

児童の深い学びの姿を次のように捉え、その実現に向けて、以下のような手立てをとる。

<育てたい資質・能力>

- ・ 月日や誕生日に関する語句や基本的な表現を理解することができる。【知・技】
- ・ 誕生日や欲しいもの、好きなものに関する質問や答え方を理解し、伝え合うことができる。【思・判・表】
- ・ 他者に配慮しながら、誕生日や欲しいもの、好きなものについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。【態】

<深い学びの姿>

- ・ 月日や誕生日に関する語句や基本的な表現を理解し、誕生日や欲しいもの、好きなものについて、友達に進んで尋ねたり、答えたりすることができる児童の姿

視点1 深い学びを実現する単元構成

- 単元の導入で指導者自作のバースデーカードを見せ、状況を捉える場を設定することにより、単元のゴールとなるバースデーカードを贈り合う活動への意欲を高められるようにする。
- 既習や新出の表現を用いて、尋ねたり答えたりするやり取りをする場をスモールステップで設定し、友達と外国語で進んでコミュニケーションを図ることができるようにしていく。
- 単位時間や単元の終末に自分の学びを振り返る場を設定することにより、誕生日や欲しいもの、好きなものを伝え合う力が付いたことを自覚し、自己有用感をもてるようにする。

視点2 問題解決的な学習展開の充実

(1) 主体的な学びを促す手立て

- ・ 誕生日や欲しいものを伝え合う学習が児童にとって必然性のあるものとなるように、バースデーカードを作って贈り合うという目的を単元の導入に位置付けておく。(主①)
- ・ 言語活動につながる活動(チャンツやゲームなど)を位置付け、外国語の音声や新出の表現に繰り返し触れ、慣れることができるようにしていく。(主②)
- ・ 児童の活動やコミュニケーションの様子を見取り、価値付ける声掛けを適宜行うことで、児童が自信をもって活動できるようにする。(主③)

(2) 対話的な学びを促す手立て

- ・ 音声で十分に慣れ親しんだ後で、その表現を用いてコミュニケーションを図る場面を単元に位置付ける。(対①)
- ・ 一人一人がコミュニケーションを図ることができるように、集団からペア、個へと段階を踏んだ活動の形態を取る。(対②)

(3) 言語材料

表現	When is your birthday? My birthday is~. Do you want ~? Yes, I do. / No, I don't. What do you want for your birthday? I want ~. What () do you like? Happy birthday. This is for you.
語彙	月 (January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December), 季節 (spring, summer, autumn / fall, winter), 序数 (1st~31st), 日本の行事 (New Year's Day / Eve, Children's Day, Doll's Festival), your

4 単元の指導計画

(1) 目標

- ・ 誕生日について聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の大文字を書くことができる。**【知・技】**
- ・ 祭りや行事に関するまとまりのある話を聞いて分かったり、誕生日や欲しいもの、好きなものなどを伝え合ったりすることができる。**【思・判・表】**
- ・ 他者に配慮しながら、誕生日や欲しいもの、好きなものについて伝え合おうとしている。**【態】**

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 英語での月日の言い方や誕生日の尋ね方を理解し、自分の誕生日を話している。 When is your birthday? My birthday is~.	① 祭りや行事に関するまとまりのある話を聞いて推測し、内容の大体を理解している。 ② 誕生日や欲しいもの、好きなものを互いに英語で伝え合っている。	① 誕生日や欲しいもの、好きなものについて、友達と進んで伝え合おうとする。 ② 友達の好みを考え、丁寧にバースデーカードを作ろうとする。
② 誕生日を祝う表現の英語を活字体の大文字で書いている。 "HAPPY BIRTHDAY TO YOU"		

(3) 指導計画 (5時間)

時数	主な学習活動	評価規準【観点→評価方法】
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> バースデーカードをおくりあおう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ バースデーカードを贈る設定の Small Talk から単元の活動の見直しをもち、単元のゴールを知る。 ○ 世界の様々な行事の写真からどんな行事かを推測し、月の言い方を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の行事と比較し、共通点や相違点について考える。 ・ ポインティングゲームやチャンツを通して、月の言い方に慣れ親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語で月を話している。【知①→発言、観察】 ・ 祭りや行事に関する写真や話の内容から大体を理解している。【思①→テキスト】
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日にちの言い方を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ポインティングゲームやナンバーゲーム、チャンツを通して、序数の言い方に慣れ親しむ。 ○ 誕生日の尋ね方や答え方を知り、ペアでやり取りをする。 ○ “HAPPY BIRTHDAY” を形に注意しながらワークシートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語での月や序数の言い方を理解し、自分の誕生日を話している。【知①→観察・カード】 ・ 英語で友達の誕生日を尋ねている。【思②→観察】
3 本時	<ul style="list-style-type: none"> ○ バースデーカードを作るために、誕生日に欲しいものや好きなものを尋ねたり答えたりする言い方を知る。 ○ 誕生日に欲しいものや好きなものを尋ねたり答えたりしあう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 始めは指導者を相手に全体で、次に隣同士や近くの友達とペアになって伝え合い、“What do you want for your birthday?” “I want ~.” 表現に慣れ親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語で誕生日に欲しいものや好きなものを尋ねている。【思②→観察】
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ ペアを決め、誕生日に欲しいものや好きなものを尋ね合う。 ○ バースデーカードを作る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ “HAPPY BIRTHDAY TO YOU!” を形に注意しながらカードに書く。 ・ 相手へのインタビューから得た情報を生かしてカードを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誕生日を祝う表現の英語を活字体の大文字で書いている。【知②→カード】 ・ 友達の好みを考え、丁寧にバースデーカードを作っている。【態②→カード】
5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 誕生日を手掛かりに相手を見つけ、友達のバースデーカードを届ける。 ・ 郵便配達員になったという設定で、互いに誕生日や欲しいもの、好きなものを尋ね合い、バースデーカードを届ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語で誕生日を尋ねたり答えたりしている。【知①→観察】 ・ 誕生日や欲しいもの、好きなものについて友達と進んで伝え合おうとしている。【態①→観察】

5 本時の指導計画

(1) 目標

- ・ バースデーカードを作るためのインタビュー活動を通して、英語で誕生日に欲しいものや好きなものを尋ねたり答えたりすることができる。【思・判・表】

(2) 評価規準

おおむね満足	努力を要する児童への支援
<ul style="list-style-type: none"> ・ 誕生日に欲しいものや好きなものを知るための表現を用いて、英語で尋ねたり答えたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵カード等を用いて、黒板に表現の仕方を提示し、いつでも見られるようにしておく。 ・ そばについて表現の仕方の支援をしたり、できている部分を褒めたりして、自信をもたせられるようにする。

(3) 展開

(主) 主体的な学びを促す手立て・(対) 対話的な学びを促す手立て

段階	主な学習活動・学習内容	教師の支援 (◇評価)	資料等
導入 15分	<p>1 【Warming up】</p> <p>① あいさつをする。</p> <p>② チャンツをする。 “When is your birthday?”</p> <p>2 【Today's Goal】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バースデーカードを渡すやり取りの様子から課題を掴む。 <p>A: Happy Birthday, B-san. This is a birthday card for you! Here you are.</p> <p>B: Thank you! Oh</p> <p>A: What's wrong?</p> <p>B: Sorry. I don't like yellow. I like blue. I don't like cats. I like dogs.</p> <p>A: Oh, I see</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 慣れ親しんだ表現を用いて、笑顔で気楽に話せる雰囲気づくりをする。 ・ 月と序数の言い方を想起するために、ジェスチャーをつけながら行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 贈られたバースデーカードの色や絵柄が好みではないものだったという場面を見ることで、相手の欲しいものや好きなものを知る必要性を感じ、英語での表現を使えるようになろうという思いをもつことができるようにする。(主) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子黒板 ・ バースデーカード ・ 絵カード
展開 20分	<p>3 【Let's Watch and Think3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 映像を見て、登場人物の好きなものや好きなことを聞き取り、線で結ぶ。 <p>4 【Activity】</p> <p>① テキストを見て、欲しいものを尋ねたり答えたりする言い方を知る。</p> <p>② 質問して分かった相手の欲しいものや好きなものをワークシートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既習の表現“I like~.” “I don't like~.” “Do you like~?.”を板書に提示しておく。答え合わせの際に、“Do you like~?.”と児童に質問し答える場を設けることで表現を想起し、次の Activity につなげていく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体から近くの席のペア、個々のやり取りへと段階を踏んだ活動を行うことによって、新出の表現“What do you want for your birthday?” “I want~.”に慣れ親しみ、コミュニケーションを図りやすくする。(対) </div> <p>◇ 誕生日に欲しいものや好きなものを知るための表現を用いて、英語で尋ねたり答えたりしている。【思②→観察・ワークシート】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ テキスト ・ 絵カード ・ ワークシート
終末 10分	<p>5 【Let's Watch and Think4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 映像を見て、登場人物の欲しいものや好きなことを聞き取る。 <p>6 【Reflection】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りカードに会話の楽しさや気づき、友達のよいところを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の内容に関わる欲しいものや好きなものを伝え合う表現の理解を確かめる。その際、区切って何度か聞いたり、概要を全員で共有したりするなど工夫することによって、聞き取りへの抵抗感を少なくするようにする。また、表情やジェスチャーなどの音声以外の非言語手段が内容理解の助けになることも確認する。 ・ 振り返りの視点を示すことで、コミュニケーションの楽しさに目を向けられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りカード